



ご挨拶

日頃より、温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。中野区議会は9月から10月、第3回定例会が開催され、私は令和4年度中野区事業の決算を中心に区民の皆様から頂いたご意見・ご要望を基に質疑を行いました。中野区の決算は、大幅な剰余金を基金に積み上げたことをもって財政運営は健全で、かつ、決算は良好であったと認識しています。しかし私は、しっかりと予算査定とブレのない予算執行、歳出を上回る歳入に対しては当初予算の段階で基金積み立ての予算化を図ることが不十分であったと指摘させて頂きました。予算の執行率を十分に踏まえたうえで、予算編成を行うべきことを今回の決算は示唆していると思います。なお、これまで提案していました「リトルベビーハンドブック」は、令和6年3月に作成・配布できるよう検討されています。がん患者への「アピアランスケア・ウィッグ等に支援」は、令和6年度実施予定となりました。「地域包括支援センター」は、高齢者の2025年問題、多種多様な多くの方々のご相談に対応すべく体制の見直しや運営の改善を図ることになりました。誰もが安心して暮らせる中野のまちづくりのため、これからも全力で取り組んでまいります。

小林ぜんいち

東京のビル群と紅葉した木

KOMEI TO 公明党 第40号 2023年11月発行 中野区公明党議員団

実績

自転車用ヘルメット購入補助

自転車利用時における事故や転倒から頭を守るヘルメットの着用促進を図るため、一定の安全基準を満たしたヘルメットを、区内の事業協力店で購入する場合に、2,000円を割引いた価格で購入できます。

詳しくは中野区公式ホームページ tokyo-nakano.lg.jp

公明党が提案 自転車用ヘルメットを2000円引きで購入できます

対象期間 令和6年3月31日(日曜日)までに購入したヘルメットが対象になります。対象者 中野区内にお住いの方(本人、同居する家族の分が対象)。事業者は除きます。購入方法 上記の事業協力店に設置している「購入申込書」に記入してください。販売価格から2,000円を控除した金額で購入することができます。

実績

区内全小中学生 学校給食実質無償化

令和5年10月～令和6年3月分 給食費相当分を支給 小学生1人30,000円 中学生1人37,000円

公明党が推進



実績

非課税世帯でないため 支援の対象外になっていた 低所得世帯へ3万円支給

令和5年度住民税均等割のみ課税世帯、令和5年度の課税所得の世帯合計が150万円未満の世帯が対象です。対象者には通知が送付されます。

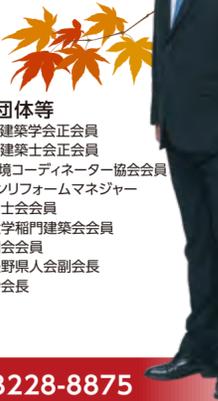
物価高騰対策

決まりました!!

Home Page Facebook Twitter HOMEPAGE ホームページ 小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト ホームページ http://kobayashizenichi.com/

小林ぜんいち

- 議役員職等 ● 公明党議員団 幹事長 ● 総務委員会 委員 ● 中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会 委員 ● 中野区都市計画審議会 委員 ● 消防団運営委員会 委員



令和5年第3回定例会 決算特別委員会



(2023.9.25総括質疑)

総括質疑 項目

- 1. 令和4年度決算について 1) 令和4年度決算について 2) 都区財政調整交付金について 3) 令和6年度中野区予算編成方針について

令和4年度決算について

小林 令和4年度の決算は、新型コロナウイルス感染症対策を行う年度であったが、歳入歳出ともに好調であった。実質収支比率が特別区平均を上回った要因を、どのようにとらえているのか。区 特別区税や特別区交付金の増による歳入が5.4%と増加した一方、投資的経費が減少したため、歳出が5.1%の伸びに止まり、実質収支額が昨年度よりも増加した。小林 基金状況の活用については、基金残高の推移は好調に見える。基金残高をどのように考えているのか。区 新たな「財政運営の考え方」で、基金の積立てと残高の目標額についても整理した。「財政運営の考え方」を踏まえ、必要な基金残高を確保していきたい。小林 学校の改築工事が進む中、区有施設整備計画と義務教育施設整備基金の現状と、今後の基金活用計画について伺う。区 義務教育施設整備基金の令和4年度末残高206億円。物価高騰などの影響により、区有施設整備計画で見込んでいた学校の更新経費では厳しい状況となっている。これらの状況を踏まえ、計画的に積立て、繰入れを行っていく。小林 債務負担行為が平成29年度までは200億を割ったが、平成30年度から一気に増加し続け、令和4年度末には566億円と膨れ上がった。債務負担行為は、一種、借金と同じと考える。区はどのように考えているのか。区 債務負担行為は翌年度の予算を縛るため、特定財源は確実に確保し、負担を抑えていく必要がある。後年度の財政負担を慎重に判断して設定している。今後も区民サービスに支障がないように、適切に対応していく。小林 令和4年度の蓄えを今後有効に使う必要がある。「最小の経費で最大の効果」、「財政改革」の取組みについて伺う。区 山積する課題に向き合い、限られた財源の中で、基本構想の目標を達成するには、職員ひとりひとりが知恵を出し、たゆまぬ努力を行い、効率的、効果的な事業執行を行うことが、区民ニーズに応えることにつながると考えている。

令和6年度中野区予算編成方針について

小林 決算は大幅な剰余金があり、それを基金に積み上げたことをもって財政運営は健全で、かつ、決算は良好であったと認識しているのか?良好な収支は当然のことながら、自治体は企業と異なり、しっかりと予算査定を実施し、大幅なブレなく予算執行を図るべきだ。歳出を上回る歳入に対しては、当初予算の段階で基金積み立ての予算化を図るべきと考える。基金積み立ての結果は同じだとしても、基金の当初予算化と剰余金の基金繰入とは予算編成のコンセプト、プロセス面においては大きく異なるものと言える。予算の執行率を十分に踏まえたうえで、予算編成を行うべきことを今回の決算は示唆していると思うが、如何か、見解を伺う。区 執行率を十分に踏まえ予算編成を行うべきと考える。新しい「財政運営の考え方」でも示したとおり、基金の積立について、当初予算編成時に計上するように努めたい。小林 流用についてもコロナ関連を除いては、必要やむ負えない場合に行うものとする。当初に「想定していなかった」、「需要に見込みが甘かった」などの類の流用がないよう、予算編成時にしっかり行うべきと考える。

区有施設整備について物価高騰支援を

小林 建設工事に関わる物価高騰対策はあるのか。区 賃金または物価の変動に基づく請負代金の変更の措置について、中野区工事請負契約約款第26条に規定している。比較的緩やかな長期間の価格水準の変動に対応する全体スライド条項、鋼材類や燃料油など特定の資材価格の急激な価格変動に対応する単品スライド条項、賃金水準や物価水準の短期的で急激な変動に対応するインフレスライド条項を定めている。小林 中野区工事請負契約約款に、第26条が設けられた背景は何か。区 第26条は、契約締結後に賃金水準や物価水準が変動し、当初の請負金額が不適当となった場合でも、適切な水準の請負金額に変更できるよう定められたものである。小林 「第26条6項(インフレスライド条項)の運用について」条項5(3)に、残工事に係る全ての単価を基準日時点のものに入れ替えて算出する、とある。全ての工事項目について適用すべきではないか。区 インフレスライドの運用方針の見直しは今後の検討となるが、物価高騰の実態を踏まえ、都の工事単価を採用している品目以外で、例えば、サッシュや稼働間仕切り壁、エレベーターなどの品目についても協議の対象としていく。小林 全ての工事項目に当てはめないと、契約約款の条項の主旨とかけ離れていなか。区 スライド額の算定は、物価変動の影響が工事案件ごとに異なるものと認識。工事請負契約約款の規定に乗って工事ごとにスライド額を算定してきたところで、今後も物価高騰に的確に対応のうえ、スライド条項を運用して参りたい。

リトルベビーハンドブックの作成について

令和6年3月作成予定 小林 昨年、リトルベビーハンドブックについて「2,500グラム未満の低体重児や、身長が25センチから40センチに満たない低身長児もいらっしゃる。母子手帳に低体重児、低身長児、リトルベビーの成長記録の記載が出来る、心に寄り添ったリトルベビーハンドブックを作成し、活用を図ってほしいか」と、提案をした。保護者など当事者などのお声も取り入れた作成を望む。進捗状況を伺う。区 10月から11月に、当事者家族との座談会の実施、関係機関などから意見募集を行う。令和6年3月に、リトルベビーハンドブックを作成し、配布できるよう検討している。

がん患者へのアピアランスケア・ウィッグ等に支援を

令和6年度実施予定 小林 がんを患う女性から、「頭髪が抜け落ち、外出時の様相が気になる。アピアランスケアとしてウィッグを利用したいが、購入やレンタル費用が高く、治療費を含め経済的に苦しく、心身的も辛い。」とご相談を受けた。東京都は、購入費用の包括補助支援を開始した。多くのがん患者が地域社会で治療を受けながら、自分らしく生活できるよう早期の補助を行うべきと考える、見解を伺う。区 アピアランスケアは、都の補助事業の対象であり、令和6年度からの事業開始に向け検討している。助成額は、本人負担の状況を把握するとともに、他の例を参考にしながら設定する。

地域包括支援センターの体制見直しを行うべき

見直しを図る 小林 中野区の65歳以上の人口はこの10年で3千人増加。1年半後には、団塊の世代が75歳以上の高齢者となる。区は高齢者の2025年問題の現状と、75歳以上の人口に対する支援体制をどのように考えているのか伺う。区 介護予防の啓発もあり、後期高齢者でも元気な方も多い一方、寿命の延伸に伴い、一人暮らしの高齢者も増えている。見守りや介護のニーズも増加すると見込んでいる。生活課題の多様化により、困難ケースの対応も増加している。小林 多種多様な多くの方々のご相談に対応すべき現状は、現在の人数と委託料では事業者にとっては大変厳しい状況と聞く。人材不足のおり、区は2025年問題に対応すべき「地域包括支援センター」の体制の見直しを行っては如何、見解を伺う。区 2025年問題に対応するため、人員配置基準を含めた体制の見直しや運営の改善を図っていく。

